

奈良市子ども・子育て会議 子ども条例部会委員名簿

(敬称略、カナ順)

	氏 名	所属 ・ 役職名等	備 考
1	岡田 和夫 オカダ カズヒロ	奈良市PTA連合会 会長	職務代理
2	金野 秀一 カネノ ヒデカズ	奈良市自治連合会 副会長	
3	粟本 恭子 アヅマ キョウコ	公募委員	
4	篠田 厚志 シノダ アツシ	NPO法人ファザーリング・ジャパン関西 理事長	
5	須川 千恵子 スガワ チエコ	公募委員	
6	浜田 進士 ハマダ シンジ	NPO法人子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長	部会長
7	福原 晋 フクハラ シン	奈良交通株式会社 総務人事部 課長	

平成29年11月28日 現在

2017

奈良市子ども会議 報告書



目次

I 奈良市子ども会議の概要	1
1 奈良市子ども会議について	1
2 奈良市子ども会議開催状況	1
3 ファシリテーター	1
4 子ども参加者	2
5 サポーター	3
II 奈良市子ども会議の開催	4
1 奈良市子ども会議の内容	4
2 振り返りシート集計結果	10
3 アンケート集計結果	15
III 奈良市子ども会議意見書	18
IV 意見書に対する答え	24

別冊資料

- 平成29年度奈良市子ども会議 意見書(原本の写し)



I 奈良市子ども会議の概要

1 奈良市子ども会議について

奈良市では、子どもたちが、今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるような、子どもにやさしいまちづくりを目指して「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を制定し、平成27年4月から施行しました。

奈良市子ども会議は、この条例の規定に基づき、子どもの意見表明や参加を支援するための取組で、この会議に参加する子どもたちが子どもにやさしいまちづくり等について話し合い、出された意見をまとめ、市長に提出することを目的としています。

また、提出された意見に対しては奈良市としての回答を作成し、公表することとしています。

なお、平成29年度の奈良市子ども会議は、議論の中で出される意見を今まで以上に多様で様々な角度からの提案が出されるように、新たな試みとして、話し合うテーマを1つに絞って、子ども参加者の募集段階から提示しました。今回は平成27年度に続き平成28年度にも子どもたちから出されたテーマである「いじめ」をテーマにしています。

2 奈良市子ども会議開催状況

(1) 開催日・テーマ・参加人数

回	開催日	テーマ	参加人数
第1回	平成29年7月25日(火)	「仲間と出会い、テーマについて語ろう」	26人
第2回	平成29年7月27日(木)	「信頼できるおとなって？」	23人
第3回	平成29年8月1日(火)	「助けて！って言える相談窓口？居場所は？」	21人
第4回	平成29年8月3日(木)	「グループに分かれて意見書を作ろう 意見書の下書き」	20人
第5回	平成29年8月8日(火)	「私たちがつくる意見書」	21人
—	平成29年8月24日(木)	「市長への意見報告会」	20人

(2) 開催時間・場所

- ▶ 開催時間 午前10時から正午まで(※ 意見報告会は午前11時30分まで)
- ▶ 開催場所 奈良市役所 北棟6階 第21会議室

3 ファシリテーター

特定非営利活動法人 子どもの権利条約総合研究所関西事務所所長 浜田 進士

(アシスタント ※ 第1～4回に参加)

ひと結び 代表

佐野 岳章

4 子ども参加者

10歳から17歳までの子どもを対象に、公募等により募集し、28名の子どもが参加しました。

(応募受付順・敬称略)

氏名	学校／学年	性別	氏名	学校／学年	性別
1 野田 望未	三笠中学校 2年	女	15 向山 愛都	青和小学校 6年	男
2 おおば 遼吾	明治小学校 5年	男	16 上田 笑世	若草中学校 2年	女
3 ひがしもと 博樹	常解小学校 5年	男	17 伊田 稚菜	飛鳥中学校 3年	女
4 はらだ 碧	富雄第三小学校 6年	女	18 にしうら ホセ	飛鳥中学校 3年	男
5 ふじもと 佳奈絵	三笠中学校 2年	女	19 おおた そらの	三笠中学校 3年	女
6 よしおか 初音	都跡小学校 6年	女	20 まつしま リク	三笠中学校 3年	男
7 いばらき 潤	鳥見小学校 6年	男	21 いしばし ゆうな	三笠中学校 2年	女
8 いばらき めぐ	京都教育大学附属桃山 中学校 1年	女	22 かじ ゆりあ	三笠中学校 2年	女
9 のむら なるこ	辰市小学校 6年	男	23 やまむら ゆうき	三笠中学校 3年	男
10 たばた 桂	辰市小学校 6年	男	24 とおやま さとみ	三笠中学校 3年	女
11 よしもと 風	一条高等学校 2年	男	25 わたなべ こうき	三笠中学校 3年	男
12 さくらい まさてる	一条高等学校 1年	男	26 まえがわ さくや	都祁小学校 5年	男
13 かわぐち こなみ	一条高等学校 1年	女	27 ばんば みつき	三笠中学校 2年	女
14 ふじもと レイナ	天理高等学校 1年	女	28 伊藤 にじか	鼓阪小学校 6年	女

内訳（単位：名）

小学生	10
中学生	14
高校生	4

男子	13
女子	15

新規参加者	16
H27参加者	3
H28参加者	11
H27・H28参加者	2

5 サポーター

奈良市内に在住または在学している大学生等を対象に募集し、8名の大学生が参加しました。

(応募受付順・敬称略)

	氏名	学校／学年	性別
1	つじ ななこ 辻 葉々子	帝塚山大学 3年	女
2	たにがき とおる 谷垣 徹	奈良教育大学 4年	男
3	ふじい まなか 藤井 愛華	奈良教育大学 3年	女
4	うつのみや れな 宇都宮 怜奈	奈良教育大学 2年	女
5	なかむら ゆきな 仲村 幸奈	奈良教育大学 1年	女
6	たなせ しほ 種瀬 史歩	奈良教育大学 1年	女
7	しもはら まい 下原 舞	奈良教育大学 1年	女
8	やぐら のりか 櫓 乃里花	奈良教育大学 1年	女



Ⅱ 奈良市子ども会議の開催

1 奈良市子ども会議の内容

(1) 第1回「仲間と出会い、テーマについて語ろう」(7月25日開催)

10:00 開会

- ・開会あいさつ(子ども未来部長 木綿 延幸)
- ・事務局紹介

10:05 ファシリテーター紹介

子ども会議のねらいと全5回のスケジュールを説明

10:10 アイスブレイキング

- ・共通ルールについて確認

10:40 いじめに関する奈良市の現状の共有

- ▶(事務局から情報提供)

いじめの実態とその対策、様々な相談窓口の紹介

誰にも相談できずにがまんしている現状の共有

- ▶(ファシリテーターから情報提供)

子育て相談課の調査結果をもとに、情報の共有

昨年の子ども会議でのいじめに関する提案やその回答の再確認

11:00 休憩(お菓子・ジュース)

11:10 グループで話し合い(グループ分けはランダム)

① 自己紹介(名前、学校、学年など)

② この会議に期待すること

③ この会議で不安なこと

④ あなたの身の回りでいじめを見聞きしたことはありますか。

各自、A4用紙に①～④を書き、グループメンバーで話し合う。

11:50 全体での振り返りとまとめ(振り返りシートを記入してもらう。)

12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 森 久美 委員にご視察いただきました。



(2) 第2回「信頼できるおとなって？」(7月27日開催)

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認
- ・ 今日のゴール「お話を聞いた感想などをグループで話し合う」

10:07 アイスブレイキング

バズセッション お互いのいじめのについてのイメージを語り合う

10:15 お話「信頼できるおとなって？」

一般社団法人なら人材育成協会 良知 克哉(らち かつや)さん

▶ 中学生時代にいじめにあい、高校生時代には不登校となったが、今は元気に過ごしているゲストに自分の経験を語っていただく。

- ①自己紹介 ②中学時代の壮絶ないじめ体験、いじめの実態
- ③いじめを受けていたときの気持ち ④いじめからひきこもりへ
- ⑤学校へ行かなかったらどうなるか ⑥そんなとき、どんな人と出会えたか
- ⑦みんなのクラスにいじめはある？どこからがいじめなんだろう？

10:58 隣の人と、お話を聞いた感想をわかちあう

11:02 良知さんへの質問

11:10 休憩(お菓子・ジュース)

11:20 グループ分け(ランダム)

11:23 グループディスカッション

▶ 良知さんのお話を聞いて話し合い。

A4用紙に①自分の名前、②お話を聞いて気になった言葉、③どうしてか

11:45 全体での振り返り

11:55 全体での振り返りとまとめ(振り返りシートを記入してもらう)

12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 森 久美 委員にご視察いただきました。



(3) 第3回「助けて！って言える相談窓口？居場所は？」（8月1日開催）

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認
- ・ 今日のゴール「いじめの相談窓口にいる人や不登校の子どもの居場所づくりをしている人と話をしてみて、どんな相談窓口なら相談しやすいか、どんな居場所なら行きやすいか考える」

10:07 アイスブレイキング

10:15 あらかじめ、電話相談やメール相談の話を聞く時間、フリースクールなど居場所づくりの取組の話を聞く時間があることを伝える。

4つのグループ（ランダム）に分かれる

10:20 ゲスト各自自己紹介（自分のこと、自分の担当している活動内容のこと）

- ① 奈良市教育委員会 いじめ防止生徒指導課 吉原 康予 さん
- ② チャイルドライン 電話相談担当 牛田 斐子 さん
- ③ 夢街道国際交流子ども館 スタッフ 以呂免 幸子 さん
阪野 将 さん
- ④ アイエス学園奈良学習館 取締役 三好 敏生 さん

10:25 ゲストと子ども参加者の交流①

子どもたちのグループにそれぞれゲストが参加し、ゲストの取組内容を中心に子ども参加者と質疑応答を行う。

10:50 ゲストと子ども参加者の交流②（ゲストが別のグループのゲストと入れ替わる）

11:15 休憩（お菓子・ジュース）

11:25 各グループで感想を話し合う

11:35 各グループにA4の用紙を配布。各自、市長にどんな提案をしたいかを記入。
書いたものをグループで話し合う。

11:55 全体での振り返りとまとめ（振り返りシートを記入してもらう）

12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 森 久美 委員にご視察いただきました。



(4) 第4回「グループに分かれて意見書を作ろう 意見書の下書き」(8月3日開催)

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認

これまでの議論を踏まえて、意見書をつくるためのグループをつくることを伝える

10:05 アイスブレイキング

10:10 グループ分け

前回のグループディスカッションをもとに4つのテーマに関するグループを提案する
＜グループ案＞

①「相談窓口の工夫」 → 希望者7名

②「相談窓口の広報」 → 希望者10名

③「学校以外の場所(居場所)」 → 希望者0名

④「いじめについて知る、考える、話し合う機会」 → 希望者3名

※ ①と②は希望者多数のため、それぞれ2グループ化。③はグループなし。

10:20 各グループで話し合い

自己紹介、模造紙に市長に提案したいことを各自考え、ポストイットで張り付ける
出てきた提案をよく似たもの同士まとめる、より具体的なアイデアを考える

10:50 各グループで市長への提案を1つに絞る、提案とその理由を考え、掘り下げる

11:10 休憩(お菓子・ジュース)

11:20 各グループの途中経過を発表してもらう

11:35 再度、グループで話し合い、市長への意見書の下書きを行う

① 提案 テーマについての提案を書く

② 理由 どうしてこの提案をするのかを書く

③ 私たちができること 提案を実現するために子ども参加者ができることを書く

11:55 全体の振り返りとまとめ(振り返りシートを記入してもらう)

12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市教育委員会 都築 由美 教育委員にご視察いただきました。



(5) 第5回「私たちがつくる意見書」(8月8日開催)

10:00 開会

- ・ 前回の振り返りと本日のねらい、流れの確認
- ・ 共通ルールについて確認
- ・ 今日のゴール「市長への意見書を作成する。」
- ・ 前回欠席者のグループ分け

10:15 意見書の作成

11:00 休憩(お菓子・ジュース)

11:10 各グループで出されている意見を発表し合う

11:35 意見書の作成

11:55 全体での振り返りとまとめ

(振り返りシートと全体を振り返ってのアンケートを記入してもらう)

12:00 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。



(6) 市長への意見報告会（8月24日開催）

9:00 事前打ち合わせ

・意見報告会の進行について確認する。意見報告の練習を行う。

10:00 開会

・市長あいさつ

・出席者紹介

10:10 市長へ意見書提出

10:20 各グループごとに意見発表・市長との意見交換

① 実際に体験し、相談窓口を身近に感じよう！

② 相談窓口の工夫

③ チャイルドラインやフリースクールの人に来てもらう時間を設ける

④ 相談窓口の広報 Ver.1

⑤ いじめについて知る・考える・話し合う機会をつくる

11:00 ファシリテーター浜田進士氏からのあいさつ

11:10 閉会

◆ 奈良市子ども・子育て会議 岡田 和大 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 栗本 恭子 委員にご視察いただきました。

◆ 奈良市子ども・子育て会議 森 久美 委員にご視察いただきました。

◎ NHKからの取材を受けました。



2 振り返りシート集計結果

奈良市子ども会議の各回で子どもたちにその日を振り返るアンケート(振り返りシート)を記入してもらい、子ども会議についての意見を聞きました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数	第1回	26名
	第2回	23名
	第3回	21名
	第4回	20名
	第5回	21名

(問1) 楽しかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	21	81%	15	65%	18	86%	17	85%	18	86%
そう思う	5	19%	5	22%	3	14%	3	15%	3	14%
そうでもない	0	0%	3	13%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	26	100%	23	100%	21	100%	20	100%	21	100%

(問2) わかりやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	17	65%	16	70%	19	90%	18	90%	17	81%
そう思う	7	27%	6	26%	2	10%	2	10%	4	19%
そうでもない	2	8%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	26	100%	23	100%	21	100%	20	100%	21	100%

(問3) 話しやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	21	81%	13	57%	18	86%	19	95%	18	86%
そう思う	5	19%	8	35%	3	14%	1	5%	3	14%
そうでもない	0	0%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	1	4%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	26	100%	23	100%	21	100%	20	100%	21	100%

(問4) 今日の子ども会議に参加して、感じたこと、気づいたこと、考えたことなど…なんでも書いてください！

① 第1回

- ・ イジメられている子は話さないじゃなくて話せないだけです。イジメられていることを知ってほしくないから。
- ・ 意見の不安のマスに話せるかどうか的なのを書いてあって、中には、年上の人といっしょに…などの意見もあって、年上の人と話し合うのは、緊張しました。でも一回目は、楽しかったです。
- ・ すぐ周りの人がやさしくて話しやすかった。楽しかった！！
- ・ 「イジメ」って1つにまとめても、それは人それぞれ、感じている事、考えている事は1人1人ちがうのではないかなと改めて考えた。どういう風に考えているのか聞いてみたい。
- ・ いじめの相談センターに、いじめられている人が、話さないじゃなくて、話すことができないです。みんなに知ってほしいけれど、知られたくない。
- ・ いろいろな理由で子ども会議に来ているんだなと思いました。
- ・ イジメは案外少ない。1人で悩んでいる人が多くてビックリした。
- ・ はじめは知らない人が多かったけど、仲良くなってうれしかった！みんな、おもしろい！
- ・ みんな話しやすかった
- ・ どの学校でもいじめられてるかどうか、きわどいところの人がいる。人事ではない。みんなやさしい。
- ・ メンバーの入れ替わりもあり、また、最上級生が自分の代になってしまったので、責任を持たねばと思いました。
- ・ イジメの現状が今回の子ども会議でよく分かり、これから、イジメについて話し合いたいという意欲がとても強くなったと思います。
- ・ 小学生から高校生まで集まっていたが、そんなのは全く関係なく話しやすかった。普段の生活では高校生ぐらいとしか関われないが、小学生、中学生と平等に仲良くなれたのがとてもよかった。
- ・ イジメについて話しにくそうな人がいて、そのとき、話し合いを進める進行法をどうしたら良いのか戸惑いました。テーマがとても責任重大なのでどこまで話していいのかとか、どう聞いたら良いか戸惑いました。
- ・ しゃべれる人が増えたからうれしい。
- ・ 初めて会ったみんなと、積極的に話し合えた。
- ・ いろいろな人たちと交流することができてよかったです！特に自分と年がはなれている人(小・高)の人々とコミュニケーションをとれる良い機会でした。
- ・ いじめを受けている人で、人に相談しない人が16.2%(1,003人中)もいるということに気づいた。もっと相談できるような場所をつくっていかれたらと思った。
- ・ 同じ学校の子とか先輩がいたからいいけど、そうじゃなかったら話せなかったなあー。と思いました。次の子ども会議では、いじめを体験した方が来られるので、勉強になるだろうなと思います。今回は「いじめ」というテーマが決められているので、みんなの意見がたくさんありそうで楽しみです！
- ・ けっこうみんなフレンドリーやったのでめっちゃしゃべりやすかった！そして、いじめについてもくわしく知れそうだし、この会議で少しでもいじめが減ったらいいなと思いました。次もよろしくお願いします！
- ・ いろんな人と意見が交流できて、とても自分の視野が広がりました。
- ・ 初めての参加で不安だったけれどすごく話しやすくて思っていたより楽しかったです！！みんな積極的でおもしろくてなごみやすかったです！いじめにも真剣に考える場所ができて良かったと思います。
- ・ とても話しやすかったです。人との交流の楽しさを感じることができました。とても、意味のある時間になったと思います。次も今日のように取り組みたいと思います。
- ・ ふつうに楽しかった。友達増えそう
- ・ 何か思ってたふんいきとは違って、皆優しく話しやすかった！また来たい！応募して良かったと思いました！
- ・ アニメの好きな子が多かった！8/1、3がこれませんがよろしくお願いします。

② 第2回

- ・ これから6年、中1・中2・中3になっていくに連れて、良知さんのようになるのか起こる可能性は低くはないから

ちょっと心配です。1軍になった場合は、いじめている人を止めようと思います。

- ・ 人のランクわけということが一番ダメ！ではなく、そういう事があったときに、どういう行動をとるのが必要だと思った。
- ・ 今日、良知さんが話して下さったことを学校などで話し、伝えていくと、もっとたくさんの人たちが助かると思いました。本人からの体験談を聞くことで、分かりやすかった。
- ・ いじめはつらい。
- ・ 良知さんは、けっこう色々なことを話してくださいましたが、自分の経験したいやだったことについてはあまり話されませんでした。(落書きされたなど)だから、それほど、つらい思いをされたのだな〜と思った。
- ・ 良知さんの話を聞いてかなり共感できたし、いじめはだめだと思った。
- ・ イジメの体験を聞いたのは、ぼくたちだけで良知さんがよければ、もっと学校に来てくれれば少しでもイジメは減ると思います。
- ・ 良知さんのお話には非常に共感する部分があった。僕のクラスにはカーストはなくとも派閥があるので根底にある問題は同じだと思うので、自分の周囲と重ね合わせることができた。
- ・ いじめをなくすための一番の方法は人との関わりを大切にすることだと思います。人と関わることにより、相手の良い所や相手の興味がある所がうかびあがってくると思うからです。
- ・ いじめの原因となるスクールカーストがあるのにおどろいた。中3のときの先生がとても生徒のことを考え、仲良くなり、グループというのがなかった。自分一人一人の意識をもっと高めようと思った。公演が聞けてよかった。
- ・ すごく重たいお話を聞かせていただきましたが、自分の気づかなかったことや、周りでそのようなことが起こっているんだと感じることがありました。スクールカウンセラーは良い関係を築きながら相談できる良い場所というのを知りました。
- ・ 良知さんのとても貴重な話を聞くことができてとってもよかったです
- ・ 良知さんが、自分が体験したイジメより、もっと、大変なイジメを体験していて、何をされたか、どんな心境かなどを聞いて、正直、聞いている側もつらくなった。もし、自分が体験したら、もっとつらいだろうな。と思った。
- ・ 義務じゃなくて意志で行動することが大切なんだと思った。無理することが大切なのではないと思いました。
- ・ 学校のカウンセリングでもいじめてくる人に見られていると思って行けない人もいるかもしれない。それで、また、そのことについていじめがエスカレートしたりするかもしれないので学校ではなくもっと身近な別のところにあればと思った。もっと身近だが電話はわかりにくいので直接話せる場所があったらなと思った。
- ・ いじめが起こったとき、自分は逃げてもいいんだ、逃げられる場所があるんだと思えば気持ちも大分楽になるだろうなと思います。初めて話す子とも仲良く楽しく？話し合えたかなと思いました！
- ・ 良知さんの話を聞いてすごくイジメについて、よく分かりました。実体験を語ってくださるのは、すごくつらいことだったかもしれないのに、本当にありがとうございました。感動しました。
- ・ 実際にいじめにあった人のお話はとても貴重なものだと思うので、常に心にとめておきたいと思います。自分の気持ちは言葉にしないと伝わらないので、しっかりと相手に伝えようと思います。
- ・ いじめが起きる理由は、様々だけど根幹にあるのは身分によって差別していることだと思ったし、いじめを受けた人は大人になっても引きずっていくのかと思うと少し恐くなった。
- ・ いじめを受けていた人の話を改まって聞くのははじめてでした。あまりにも思っていたより、リアルで悲しいことだと感じました。学校にも良知さんみたいに相談できない人がいるのなら声をかけてあげようと思いました。
- ・ 自分もイジメられた経験があったので、そのことを思い出しながら聞いていましたが、自分のイジメとは、ちがうことが多かったので、人によってイジメのとらえかたがちがうんだなって思いました。助けてあげるのは、難しいですが、せめて、自分がその人にとっての逃げ場になってあげたいと思いました。
- ・ いじめのことについて学校でもしっかり気をつけて楽しい生活をみんなで送りたいと思う。
- ・ 良知さんの話を聞いて、すごくはげましになりました。自分もいじめられててどうすればいいかわからなかったけど、良知さんが言った言葉でうれしくなりました。フリースクールに一度行ってみたいと思います！！

③ 第3回

- ・ やっぱいじめをかかえこんでいる人は、分からないから、どうやってやるのか、無くすのか？むずかしいです。
- ・ フリースクールのイメージが少しかわりました。
- ・ 方法を考えるのはむずかしい。
- ・ しっかりアイデアを考えたい。固まってる人が固まらないように。
- ・ 全然知らなかったことを知れた
- ・ チャイルドラインをみんなに知ってもらうことが大切やと思います。みんな聞いたことはあるけどあまりよく知らない人は多いから
- ・ チャイルドラインや相談所などは本当に心が開ける楽しい所なんだと思いました。とても考え方や見方が変わった。
- ・ テーブルで回ってもらって質問しやすかった。相談窓口やフリースクールのことについて詳しく聞けてよかった。不登校の子にも知ってもらいたい。
- ・ 全然知らないことや、初めて知ったこと。フリースクールや電話相談は、名前は知っていたけど実際にどんなところかなど知らなかった。グループでの話し合いでは、トイレに貼るなどのおもしろい意見がでて次回が楽しみです。
- ・ いじめの人がなくなればいいなと思いました。
- ・ フリースクールのイメージが少しかわりました。方々から話をきいて……。フリースクールは「普通の学校みたいにすごすのかなあ。」と思っていたけど、以外に自由時間などと、楽しい感じだった。
- ・ やはり、意見を言ったり発言したりするのは楽しかったです。
- ・ チャイルドラインはいじめのことしか話せないと思っていたので、色んなことを話せることを知れて良かったです。私はスマホ依存症みたくスマホが好きなので、インターネットの方が言いやすいかなと思いました。
- ・ とても話やすく、楽しかったけれど、いじめについて、深く語り合うこともできた。電話は、子どもより親の方が多いと知っておどろいた。
- ・ 色々なところでいじめを受けている人を助けるようなところがあるので安心するだろうなと思った。フリースクールとかは自分が思ってたのとぜんぜん違って、明るく、楽しいふんいきやと知った。
- ・ フリースクールやチャイルドラインは、学校に行きたくなかったり、行きにくい人のことをよく考えてつくられているなと思った。
- ・ いろんないじめに対しての対策がとられていたことが良かったです。
- ・ チャイルドラインがいじめの相談をすることや、ただ学校の出来事を話すだけでもいいと初めて知りました。フリースクールはかたいイメージがあったけれど学校につながっていたりすごくやわらかい場所だった。
- ・ 今日聞いたことを、自分の中で整理し、少しでも良い意見を出し、イジメられている子達を少しでもいいから楽にしたい。自分の意見も生かしていきたい。
- ・ しっかり話せた。今度も来たい。
- ・ フリースクールについて初めて知った。話し合いが楽しい！

④ 第4回

- ・ 色々な事を話し合えて楽しかった。
- ・ グループの人数は少なかったけどたくさん意見がでたので良かった。
- ・ 自分達ができる事を考えて、それを実現できるようにしたいです！！
- ・ チーム名がなかなか決まらない
- ・ 「イジメ」のなくし方はたくさんある
- ・ 提案がしっかりかたまってきた。
- ・ 互いに意見を出すだけにとどまらず、反対意見を提示することで議論にまで発展させることができていた。
- ・ 同じテーマについて意見を出しても人それぞれの意見が多くあり、お互いの事を知る良い機会になったと思います。
- ・ 私のグループは3人で他の班より人数は少なかったが、3人ともやる気に満ちていたので、意見がいっぱい出て、

とても楽しかった。ふせんで意見のグループ分けをして、以外とわかりやすくなった。小学生、中学生、高校生3人で、ジェネレーションギャップがあってよかった。

- ・ グループ分けもあり、色んな意見が出ました。なかなか自分では思いつかない意見も出て、楽しく話し合いができました。
- ・ 大きい紙ができることが楽しみです。
- ・ もっとみんなで楽しく話し合える場があればもっとイジメが減るんじゃないか。
- ・ あまり上手く意見を言うことはできなかったけど、皆がフォローしてくれたりとか、楽しく話し合えたかなと思います！ 次の子ども会議も楽しみにになりました。
- ・ 皆で意見をまとめるのは難しかったが、今日学べたことが実現すれば、苦しんでいる人を助けられると思う。
- ・ 自分達で市長への提案を考えたり、ポスター作ったり、とても楽しくて、いろんな人の意見も知れてよかったあ！！
- ・ 人によって自分が理想に思っている人が違ったりして、人によって違うんだなと思いました。
- ・ 知らない人に知ってもらうためにどうしたらいいかこんなに真剣に考えられて良かったと思います。少しでも自分たちの意見が通るといいです。
- ・ 色んな視点から話し合いをすることができたと思います。次はもっと意見をいうようにしたいです。
- ・ 自分は考えるだけだったけど年上の人がまとめてくれた。
- ・ ポスター作り楽しー♪提案するって大事！

⑤ 第5回

- ・ みんなと話し合ってわかることがあるとわかりました。
- ・ 提案を変えようか迷いました。
- ・ 自分がたくさんの意見を言えて他の人の良い意見も聞けたし、話し合うことが苦手だったけど、この機会ですの力が増えたと思います。
- ・ 1つのテーマで話し合っていると、目的がずれることが少なくて良かったです！！
- ・ 話し合いのチームには入らず、2人でイラストをひたすら考えていた。
- ・ がんばりました！！
- ・ 前もって準備しておいたおかげでさくさく進んだのでよかった。
- ・ 議案のまとめから参加した子も良い意見がいっぱい出て、本当にすごいなと思いました。班の中では年上だったけど、私より他の子がとても良い意見ばかりだった。今回で最後だけど、もっと時間がほしいと思った！！
- ・ なんとか完成できて、ふんいきもとても良く、おもしろく進むことができました！
- ・ 8月24日、市長に伝わって奈良の意見の一つになったらしいなと思いました。
- ・ 自分の言いたいことが素直に言える事ができた。
- ・ とても話しやすく楽しい会議だった。
- ・ 最初はいじめという1つのテーマだけで、たくさん話すことができるのかなと心配でしたが、皆優しいし、話しやすく楽しく初めて会った子ども、会議ができたのかなと思います。次の24日のときに市長さんに上手く伝えるような提案ができたらしいなと思います！
- ・ チャイルドラインやフリースクールはあまり知らない人が多いので、まだまだ考えて皆に知ってほしいと思います。
- ・ 市長への提案が決定して、最後だったけど「いじめ」について、すごく考えられた5日間でした。本当に楽しかったです！ありがとうございました😊
- ・ 自分の言いたい事を言えて、話し合えたのが良かった。自分の考えが広がったので良かった。
- ・ 意見書をつくるときに自分の意見を発言することがむずかしかったです。
- ・ 意見書をつくっている時にしっかりと自分の意見を言えたので良かった。
- ・ しっかり考えられた
- ・ 楽しかったです！メンバーがおもしろすぎる！
- ・ 来年は中1なので一つ成長して子ども会議に来たいと思います！

3 アンケート集計結果

第5回奈良市子ども会議の際には振り返りシートの他に奈良市子ども会議全体を振り返ってのアンケートを子どもたちに記入してもらいました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数 21名

(問1) 奈良市子ども会議についてご満足いただけましたか。

選択肢	人数	%
満足	20	95%
やや満足	1	5%
普通	0	0%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	21	100%

(その理由)

【満足】

- ・ 年上の人達と仲良く話し合えたから。
- ・ たくさんの人とふれあえておもしろい人もいたし、やさしい人がいて良かったからです。
- ・ いろいろな見方から話し合いが出来たから
- ・ 楽しくさせていただいたり、飲み物や食べ物もいただいたから
- ・ みんなとたくさん話せたから
- ・ 意見の統合だけでなく議論まで出来たのでよかった
- ・ お菓子やジュースがもらえるだけでなく、学年や学校の違う人と関わることができてよかった。
- ・ 新たに友達も増えて、子どもだけで考える機会もあまりないので、良い会議だと思ったから
- ・ お菓子がもらえるから。友達ができたから。自分が言いたいことが素直に言える場ができたから。
- ・ とても話しやすく、みんな笑顔で話を聞いてくれた。
- ・ 楽しく話し合いができたからです。
- ・ 話し合いが好きだから。
- ・ みんなが一生懸命で話し合いが集中してできたから。
- ・ 自分の言いたいことを話し合えたから
- ・ 話しやすい環境で自分の意見を言いやすかった。
- ・ 話しやすかったし、しっかりと意見を言い合うことができたから。
- ・ 楽しかった。ただそれだけ
- ・ 話しやすい雰囲気があってしゃべりやすい！楽しかったです！！
- ・ みんなとしゃべりやすく楽しかったです！

(未回答1名)

【やや満足】

(未回答1名)

(問2) 奈良市子ども会議を通して自分の意見を言うことができましたか。

選択肢	人数	%
充分できた	16	76%
できた	5	24%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	21	100%

(問3) 奈良市子ども会議に参加して、奈良市のまちづくりにより興味・関心をもつことができましたか。

選択肢	人数	%
充分できた	14	67%
できた	6	29%
どちらともいえない	1	5%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	21	100%

(問4) 奈良市子ども会議に来年もまた参加したいですか。

選択肢	人数	%
とても参加したい	17	81%
参加したい	2	10%
どちらともいえない	2	10%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%
計	21	100%

(問5) 来年も奈良市子ども会議に参加するとしたら、どんなテーマで話し合いたいですか。

- ・ 環境について
- ・ 政治について
- ・ 自由テーマ(4名)
- ・ 子ども達の留学について
- ・ 地域の環境
- ・ 地球温暖化
- ・ 観光産業の振興
- ・ いじめ、みんなで楽しめる施設！奈良市の観光について。
- ・ 非常用設備をもっと学校に置いてほしい
- ・ 奈良県のPRについて
- ・ 自分の家の近くにできる高速道路について
- ・ 奈良市にホテルを作るべきか。
- ・ 1年で奈良市で改善するべきことができれば、それについて話し合い解決したい。
- ・ 奈良市の政治について

- ・ 球技ができる公園が近くにないので、大きい公園をつくってほしい。
- ・ 球技ができる公園を増やしてほしい。
- ・ 「いじめ」！ 今年の内容も踏まえてもっと深いところについて話し合いたい！！
- ・ 奈良県の良さを韓国の人に伝える！

(問6) 奈良市子ども会議に参加して、良かったところ、悪かったところ、変えてほしいところなど、自由に感想や意見を書いてください。(開催時期、回数、場所、内容など)

- ・ 特にないです。
- ・ 良かった所しかありません。アドバイスをしてくれたところ。
- ・ たくさんの人と触れ合えて話し合えたのですごく良かったと思います。
- ・ もう少し、話し合う時間が欲しかったです。でも、いろいろな人から話を聞けて良かったです！！
- ・ 特になし
- ・ 開始時間が10時というちょうど良い時間だった。
- ・ 提案をつくる時間の日だけ、もう少し長くしてほしい。提案をつくってから、市長に提案する日までの時間がけっこう開いていると思う・・・。
- ・ もう少し回数がほしいです。大学生の方がサポーターとしていてくれることで、進めるし、雰囲気もいいし、盛り上げてくださるから、とても良いなと思いました！！
- ・ 自分の意見を言うことができたし、聞くこともできたのでよかった。
- ・ クラブと大会前と重なるのをやめてください・・・。もっと回数を増やしてほしい！！
- ・ あまり日程を広げてほしくない。もうちょっと回数を増やしてもいいと思う。
- ・ 特にありません！ 最後の日のお菓子にアイスがあったのは特別感があって良かったです。
- ・ とても楽しかったので、今のままで良いと思います。
- ・ テーマにそってみんなとこんなに真剣に話し合ったり、自分の意見を発表したりできてすごく良かった！！ 来年も参加したいです！！
- ・ いろいろな人と話し合える機会は少ないので、楽しかったし、貴重な体験になった。
- ・ 回数が増えるにつれ、内容が段々と濃くなっていったので、すごくおもしろかったです。
- ・ 回数を増やしてほしい。
- ・ ないです。
- ・ もっと回数があっても良かったと思います！ とっても楽しかったのですごく満足しています！！
- ・ 図書カードを1,000円にしてほしい。今回のテーマが暗くて少し、いやだ。

(未回答1名)



Ⅲ 奈良市子ども会議意見書

奈良市子ども会議で出された子どもたちの意見をまとめ、市長に提出するための意見書を子どもたち自身の手で作成しました。その内容は次のとおりです。

平成29年度奈良市子ども会議では、参加者募集の段階から全体のテーマを「いじめ」に絞り、5つのグループにわかれて議論を行いました。

そして、テーマについて出された多くの意見を「提案」「提案の理由」「提案からぼくたち・わたしたちができること」として意見書にまとめてくれました。

なお、この意見書の原本は子どもたちによる手書きの意見書になっていますので、この報告書の別冊資料としてその写しを添付しています。

[テーマ・グループメンバー一覧]

「実際に体験し、相談窓口を身近に感じよう！」

野田 望未 藤本 佳奈絵 茨木 恵 吉本 風 上田 笑世
前川 朔哉

「相談窓口の工夫」

大庭 遼吾 櫻井 優輝 向山 愛都 山村 祐輝

「チャイルドラインやフリースクールの人に来てもらう時間を設ける」

吉岡 初音 茨木 潤 野村 成吾 松島 立空 遠山 聡美
渡邊 光輝

「相談窓口の広報 Ver.1」

原田 碧 藤本 レイナ 太田 天乃 石橋 優奈 馬場 充希

「いじめについて知る・考える・話し合う機会をつくる」

東元 博樹 川口 虹波 伊田 稚菜 西浦 ホセ 伊藤 虹架

(途中欠席のため、グループには未加入の参加者)

田畑 桂 鍛冶 優里亜

(1) 「実際に体験し、相談窓口を身近に感じよう！」意見書

[テーマ] 実際に体験し、相談窓口を身近に感じよう！

[チーム名] やぶさめteam

[提 案]

学校で時間をもらい、チャイルドラインにかけける練習をしてみる。(体験なので、「楽しかったこと」を話す)

- ・学校に4台、けいたいを買う。(無理なら、学校の電話)
- ・プライバシーを守るため、電話をするときは、部屋に誰もいない
- ・6時間目などの後半に電話し、「うれしかったこと！」を話す。
- ・あらかじめ、チャイルドラインについて学ぶ。

[提案の理由]

まず、みんなが、気軽に電話をかけられるようにするのが目的です。

今までは、チャイルドラインときいても、「いじめ専門かな？」と思ったり、「名前言わなあかんな？」などの不安がありましたが、チャイルドラインについて学ぶと、安心して、かけられると思います。

どんな話でもいいので、電話してみると、悩みも相談できると思います。

結果、1人で抱え込むことなく、悩みをうちあけられると思うし、なぐさめにもなると思います。

このことにより、電話の練習をするといいと思います！

また学校で時間をもらう理由は

- ・各家庭でさせるとやらない人が出てくる。
- ・学校ですると言えばチャイルドラインの支援センターの方へ依頼するのが簡単

電話相談に絞った理由は

- ・子どもたちの理解が及んでいないから(ハードルが高いと感じられている)
- ・メールだとその場で返信がこないから。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

- ・事前にチャイルドラインの概要やルールをプリントなどにして教室に貼っておく。
- ・授業で練習した後もチャイルドラインの有用さを忘れられないようにアピールする。
- また、他にも相談窓口があるということを広める。
- ・学級代表が事前に皆の前で電話をして(あくまで模擬的に、当たり障りのないこと)見本を示しておく

(2) 「相談窓口の工夫」意見書

[テーマ] 相談窓口の工夫

[チーム名] 奈良のゆかいな仲間達

[提 案]

相談相手の情報を教えてほしい

[提案の理由]

- ・誰と話すのか、分らないと不安だから。
- ・どんな人に相談するかを分かっておきたいから。

<提案の具体例>

- ・QRコード（チラシ・ポスター）でホームページにつながるようにする。

↓

- ・ホームページでは、相談相手の顔写真・年齢・性別・名前などの自己紹介動画がのって・いて、それを見たら情報が分かるようにする。

読み取る機械がない場合、

- ・相談相手の顔写真・年齢・性別・名前などが書かれているプリントを配ってもらう。
- ・学校の中休み・昼休みにパソコンルームに行って調べる。
- ・手紙や電話できく。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

相談相手の情報をしっかり確認する。

(3) 「チャイルドラインやフリースクールの人に来てもらう時間を設ける」意見書

[テーマ] チャイルドラインやフリースクールの人に来てもらう時間を設ける

[チーム名] ダイアルゴッド

[提 案]

学期に1～2回、学校にチャイルドラインやフリースクールの人に来てもらい、各クラスで話してもらう時間を設けてください。

[提案の理由]

- ・チャイルドラインは、堅苦しいイメージがあるので、そのイメージを変えたい。
- ・顔が見えないから実際に会って信頼性を深め、心のドアを開きたい。
- ・直接話し合う時間を設けたいから各クラスに来てほしい。
- ・フリースクールについて知ってもらい身近に感じてほしいから

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

1. 児童会や生徒会を中心に意見箱から出た意見をもとに自分たちにできることを考える。
2. チャイルドラインやフリースクールについてのポスターを作ったりすることで興味や・関心をもたせる。

(4) 「相談窓口の広報 Ver.1」意見書

[テーマ] 相談窓口の広報 Ver.1

[チーム名] Sunny Girls

[提 案]

相談窓口の広報のために、身近なものを使って宣伝する。

例えば、ティッシュやマンガ、マグネット、個人懇談を通して親に伝えたり、夏休みの宿題として作品を募集する。また、掲示板（HP）を利用するなどということを考えています。

そして、自分の言いたいことを、電話や手紙で相談できるという相談窓口をこれらで宣伝します。

[提案の理由]

身近なものを使う理由は、

- ・ 広まりやすいから
- ・ よく使うから
- ・ 無料というのも良いから
- ・ 一目でみて知ってほしいから

↓

思わず目がいくデザインや相談窓口にする

↓

興味がでる

↓

捨てない！！と考えたから

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

◎ティッシュ配り

ティッシュの中にはいつている紙をカラーにする。

ポスターを持ちながら宣伝する。

⇒ 学校ごとに行うのも、学校の意識が高まり、効果的だと思います！！

◎夏休みの宿題として宣伝

作文、絵、俳句、作品など自分の得意なことを生かして参加してもらうために生徒会などで企画しようと考えています。

◎HPなどで広めていきます！

(5) 「いじめについて知る・考える・話し合う機会をつくる」意見書

[テーマ] いじめについて知る・考える・話し合う機会をつくる

[チーム名] いじめぼくめつ四銃士

[提 案]

キラキラフレンズトークの日をつくってください。

キラキラフレンズトークの日とは…

一人ひとりのキラキラ輝く個性をほめあってみんなのキズナを深めていこうという日です。

[提案の理由]

今、小5・中2の1,003名中16.2%の人が自分の悩みを自分で抱え込んでいる人がいます。今、悪い部分がシェアされているので、思ったことを言える機会があれば、逆に良い部分をシェアしていけると思ったからです。自分のニガテな人の良い部分を知れた結果、「良い部分もあるのだと再認識できた。」と言ってもらえると思います。そして、再認識できた良い部分をまずは班から、学級へ、そして、学年へと、みんなの仲を広げていけばみんなのキズナが深まると思ったから。

[提案からぼくたち・わたしたちができること]

週末の6時間目のキラキラフレンズトークの時間に…

◎ ほめ合う◎

◎ 時には遠足・ゲーム・大きなアート作りや劇などをしてクラスメイトの知らなかった一面を知って仲良くなる

◎ 一言日記にそれぞれの良いところを書いてみんなとシェアする

Ⅳ 意見書に対する答え

[テーマ]

実際に体験し、相談窓口を身近に感じよう！

提案：「学校で時間をもらい、チャイルドラインにかけると練習をしてみる（体験なので、「楽しかったこと」を話す）」について

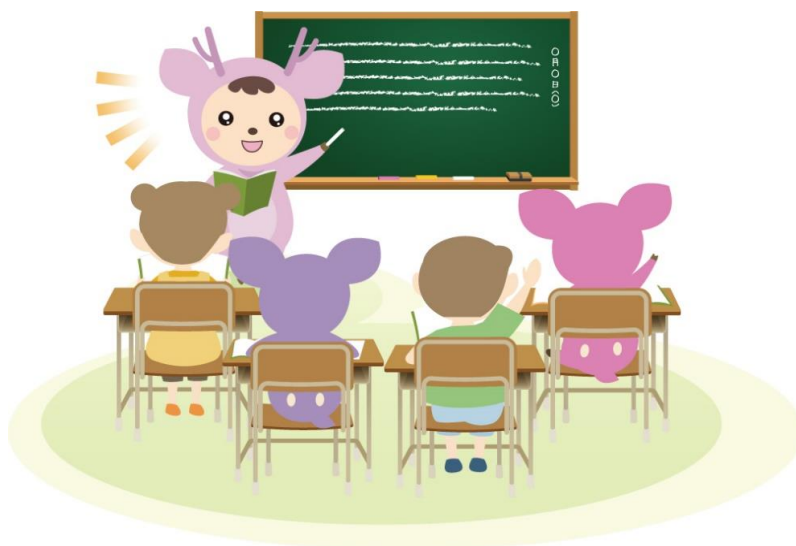
- ・学校に4台、けいたいを買う。（無理なら、学校の電話）
- ・プライバシーを守るため、電話をするときは、部屋に誰もいない
- ・6時間目などの後半に電話し、「うれしかったこと！」を話す。
- ・あらかじめ、チャイルドラインについて学ぶ。

【担当課：子ども政策課、学校教育課、いじめ防止生徒指導課】

市内の校長先生全員が集まる「校長会」という会議があり、ほぼ毎月開催されています。11月14日に開催された会議では皆さんの代表者が「子ども会議からの提案」ということで校長先生方に提案をしてくれました。

提案内容の6時間目の一部を使うことは実現できるかもしれませんが、チャイルドラインは電話をかけると全国の相談員さんで、相談中でない方に電話がつながるようになっています。全国の相談員さんに「今から練習します。」と伝えることは難しく、一斉に練習する（電話をかける）ことでその時に相談したい子の電話につながらないことも出てきます。

このような理由から皆さんが提案してくれた「学校で時間をもらい、電話をかける練習をしてみる。」ことは、まずいくつかの学校でやってみてはどうかと思います。そしてチャイルドラインの方が実際に学校へ来てもらった時に電話をかける練習をしてみたいと思います。



相談窓口の工夫

提案：相談相手の情報を教えてほしい

【担当課：健康増進課、いじめ防止生徒指導課、教育相談課】

奈良市では、市民のみなさんが日々の暮らしを送る中で直面する様々な悩み事について、電話やメール、直接会って相談できる窓口をご用意し、充実に努めています。

その中でも、教育や子どもに関する代表的な相談窓口として、次のような相談窓口があり、それらの窓口で相談相手の情報を伝える取組をしています。

まず、いじめに関する相談窓口の「ストップいじめ ならダイヤル／メール」では、説明のところに「相談員には元学校の先生もいます」という一文を入れ、少しでも相談窓口に誰がいるのかということが伝わるようにしています。電話相談は、「名前を言わないことで相談しやすい」という良さがあるため、細かいプロフィールを出すことはできませんが、できるだけ相談員のことが分かる工夫をして、ホームページに載せたいと考えています。他にも、相談窓口のホームページのQRコードを作成し、チラシ等でお知らせしていきます。

また、教育に関する相談窓口として、不登校、勉強がわかりづらい、友達との関係が取りづらいといった悩みを持った人が利用できる教育相談の窓口を設けています。この窓口では、直接奈良市の教育センターに来ていただいて顔を合わせて行う相談を行っています。相談に来られる人はとても悩んでいて、心のケアが必要な場合はカウンセラーがサポートして支援を行います。相談をするときには、相談相手のことがわかることによって安心する場合と、逆に不安になってしまう場合があるので、バランスを大切に相談しやすい窓口づくりの工夫をしていきたいと思えます。

さらに、思春期に関する相談窓口として、健康増進課で行っている思春期相談があり、「こころとからだの思春期相談」カードには、奈良市のホームページのアドレスやそのQRコードを掲載し、ホームページの思春期相談のページを見られるようにします。

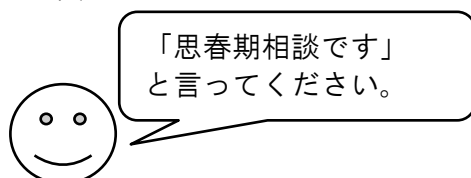
<ホームページの内容>

- ・健康増進課はどんな仕事をしているところかを説明します。
- ・相談相手のイメージができ、親しみが持てるようにイラストで職員の似顔絵を掲載（代表者5人程度）します。

（相談者は20歳代から40歳代の助産師・保健師。）

- ・電話がつながれば、『思春期相談です』と相談者に言うってもらうことで担当者には的確につながるようにします。

<イメージ図>



チャイルドラインやフリースクールの人に来てもらう時間を設ける

提案：学期に1～2回、学校にチャイルドラインやフリースクールの人に来てもらい、各クラスで話してもらう時間を設けてください。

【担当課：子ども政策課、学校教育課、いじめ防止生徒指導課】

学期に1～2回、チャイルドラインやフリースクールの人に来てもらうということを奈良市内の学校すべてで実施するとチャイルドラインやフリースクールの人たちは毎日どこかの学校へ出かけなくてはならなくなり、本来の電話相談やフリースクールでの仕事ができなくなってしまうので、学期に1～2回をすべての学校へ訪問することは難しい状況です。

しかし、チャイルドラインの方々も中学生の現状を知りたいと話されていたこともあり、回数や時期は連絡を取り合って決めていかなければなりませんが、いくつかの学校へは訪問してもらうことは可能で、その時には相談のロールプレイなどをする機会を設けたいと思います。



相談窓口の広報 Ver.1

提案：相談窓口の広報のために、身近なものを使って宣伝する。

例えば、ティッシュやマンガ、マグネット、個人懇談を通して親に伝えたり、夏休みの宿題として作品を募集する。また、掲示板（HP）を利用するなどということを考えています。
そして、自分の言いたいことを、電話や手紙で相談できるという相談窓口をこれらで宣伝します。

【担当課：いじめ防止生徒指導課】

いじめ防止生徒指導課として、相談窓口^{まど}の広報は、「相談機関一覧表^{らん}」を4月と9月に配っています。保護者向けと児童生徒向けに分け、相談内容によって相談先を選ぶように工夫しました。9月末には、「ストップいじめ ならダイヤル／メール」啓発カード^{けい}を作成し、それぞれの学校に置いています。

1月に開催^{さい}しました「ストップいじめ なら子どもサミット」の話し合いでは、「相談窓口^{まど}の広報に関するポスター」を作ろうということになり、今後、市立中学校に呼びかけて作品を募集^ほをしていく予定です。



いじめについて知る・考える・話し合う機会をつくる

提案：キラキラフレンズトークの日をつくってください。

キラキラフレンズトークの日とは…

一人ひとりのキラキラ輝く個性をほめあってみんなのキズナを深めていこうという日です。

【担当課：学校教育課、いじめ防止生徒指導課】

友達同士でいいところを探^{さが}すのはとてもよい取り組みだと思います。ただ、学校では年間の授業時間が決まっていますので、空いた時間というのはあまりない状態です。

キラキラフレンズトークの日をつくるためにはどの時間を使うかの工夫が必要になってくると思います。奈良県内では毎月11日を「人権^{けん}を確かめ合う日」と決め、学校だけでなく、市町村なども様々な取り組みをしています。例えば市内の小学校や中学校では、イジメ防止や人権・なかまづくりの取り組みとして「友達のよいところ探^{さが}し」や「学校に通う仲間が笑顔になるためにはどうすればよいか」などを話し合っています。このように学校ごとに取り組みをすると意識も高まっていくと思いますので、みなさんも学校で担任^{たん}の先生や校長先生と話してみてください。教育委員会でも「人権^{けん}を確かめ合う日」の取り組みの中でキラキラフレンズトークの日をつくっていきけるよう働^{はたら}きかけます。





平成29年度奈良市子ども会議集合写真

第1回奈良市子ども会議開催時撮影(平成29年7月25日)

平成29年度奈良市子ども会議報告書

平成30年2月

【発行】

奈良市子ども未来部子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話:0742-34-4792 FAX:0742-34-4798

E-mail:kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

奈良市子ども・子育て会議子ども条例部会 開催スケジュール（案）

	子ども条例部会
平成30年 3月	<第10回> - 平成29年度奈良市子ども会議回答報告 - 子ども条例第17条検証スケジュール案（第10回～第12回） - 第17条に関する取組への意見（市の取組に対する意見や各委員の自由な意見）
4月	
5月	<第11回> - 第10回子ども条例部会で出された意見をもとに提案作成（奈良市の取組には何が足りないか。具体的にどうすればよいか。） - 平成30年度奈良市子ども会議開催案について
6月	
7月	
8月	
9月	<第12回> - 平成30年度奈良市子ども会議について報告 - 検証まとめ（部会長、各委員コメント等）
10月	
11月	<第13回> - 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例検証報告書について報告 - 次回以降の子ども条例の検証について - 平成30年度奈良市子ども会議の検証について
12月	
平成31年 1月	
2月	<第14回> 奈良市子どもにやさしいまちづくり条例の検証について（次の条文）
3月	

子どもにやさしいまちづくり条例第17条関連事業について

[条文]

(子どもの居場所・遊び場づくり)

第17条 市、保護者、地域住民及び子どもが育ち・学ぶ施設の関係者は、子どもが安心して過ごすこと及び自然との触れ合いや遊び等様々な体験や子ども同士の交流をすることにより、豊かな自己を育むことができる居場所・遊び場づくりに努めるものとする。

「奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン」における該当事業（114事業中15事業）

※「No.」は奈良市子どもにやさしいまちづくりプランにおいて各事業につけられている番号。（1～114）

事業名 (No. 25)	放課後児童健全育成事業	担当課	地域教育課
内容			
保護者が就労などで昼間家庭にいない世帯の小学生を預かり、放課後児童健全育成事業施設内において、集団生活を体験させながら、健全育成を図ります。			

事業名 (No. 26)	放課後子ども教室推進事業	担当課	地域教育課
内容			
放課後等に小学校等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得てスポーツ等交流活動を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行います。			

事業名 (No. 27)	教育センター学習事業	担当課	教育支援課
内容			
教育センターのキッズ学びのフロアの設備を活用した体験教室等を開催することで、子どもたちの豊かな学びを保障し、創造性や探究心を育てます。			

事業名 (No. 28)	青少年野外体験施設の運営管理 (旧名称：黒髪山キャンプフィールド管理運営)	担当課	生涯学習課
内容			
自然環境の中での野外活動やレクリエーション活動を通じて、青少年の心身の健全な育成を図ります。			

事業名 (No. 29)	児童館事業の充実	担当課	子ども育成課
内容			
児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点としての事業を行い、より開かれた児童館をめざします。			

事業名 (No. 30)	スポーツ体験フェスティバルの開催	担当課	スポーツ振興課
内容			
「体育の日」にちなんで、スポーツの裾野を拡大し、「見て、触れて、体験」することにより、子どもたちがスポーツに親しみ、取り組む足がかりとなる場を提供します。			

事業名 (No. 31)	スポーツ少年団の育成	担当課	スポーツ振興課
内容			
スポーツ少年団事業として魅力ある本部事業を展開し、団への加入を促進することにより、子どもたちのスポーツの継続的な活動を促進します。			

事業名 (No. 32)	子どもを対象とした文化事業の実施	担当課	文化振興課 奈良町にぎわい課
内容			
子どもたちが優れた芸術や伝統的な芸能等、文化に親しむ機会を設けます。			

事業名 (No. 33)	アウトリーチ活動の実施	担当課	文化振興課
内容			
学校教育との連携を図り、子どもたちが芸術文化に親しむ機会を充実させます。			

事業名 (No. 58)	地域子育て支援拠点事業	担当課	子ども育成課
内容			
乳幼児と保護者が気軽に集い、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。			

事業名 (No. 59)	子育てスポット事業	担当課	子ども育成課
内容			
公共施設の空きスペースで、月1～2回、乳幼児と保護者が気軽に集って、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。			

事業名 (No. 60)	子育てスポットすくすく広場事業	担当課	子ども育成課
内容			
福祉センターで、主として乳幼児（0～3歳）と保護者が気軽に集える場を提供し、高齢者から昔ながらの遊びや昔話を教えてもらうなど、異世代間における交流を行います。			

事業名 (No. 61)	市立こども園の地域活動の推進	担当課	こども園推進課
内容			
地域に開かれたこども園として、地域の様々な人との交流を推進するとともに、未就園児の親子登園や子育て相談を実施する等、地域の子育て支援の拠点として子育て支援の充実を図ります。			

事業名 (No. 62)	地域に開かれた幼稚園・保育所づくりの推進	担当課	こども園推進課
内容			
地域の仲間とふれあう機会が少なくなっている幼児や、子育てに孤立感・不安感を抱えている保護者のために、園庭・園舎を開放し、在園児との交流や未就園児の親子登園を実施します。			

事業名 (No. 63)	公民館での各種教室・講座	担当課	生涯学習課 (奈良市生涯学習財団)
内容			
公民館の特性を生かし、各年度において、各種子育て支援事業を実施します。 ①親子が集える「場」の提供・情報提供事業 ②子育て支援教室・講座（保護者対象） ③体験教室・講座（親子対象） ④体験教室・講座（児童対象） ⑤地域の子育て力向上をめざした教室・講座（市民対象）			

奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン掲載以外の事業について

事業名	学校体育施設開放事業	担当課名	スポーツ振興課
事業内容	社会体育の普及、振興及び子どもの安全な遊び場確保のために、学校教育に支障のない範囲内において、学校体育施設を住民の利用に供する事業。 市立小・中学校全校でこの事業を行っており、それぞれに開放運営委員会を設置し、登録されたスポーツクラブやスポーツ少年団等を利用対象とし体育施設の開放を行っている。		

事業名	学習支援事業（平成30年度新規事業）	担当課名	子育て相談課
事業内容	子どもたちが学習習慣を身に付け、学力を向上することができるよう、ひとり親世帯や生活困窮世帯の中学生を対象とする学習支援教室を市内3か所に設置します。		

奈良市子どもにやさしいまちづくりプランに掲載されている公園関連事業について

事業名	公園管理運営	担当課名	公園緑地課
事業内容	身近な自然とのふれあいの場所、防災空間、良好な風致・景観を備えた地域の形成等、多くの機能を有している公園・緑地の維持管理を行います。		

事業名	公園整備事業	担当課名	公園緑地課
事業内容	都市公園の経年劣化による遊具等の公園施設の施設の改修を行います。		

基本方針1 子どもがいきいきと心豊かに育つまちづくり						【資料4－2】 奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン審議シート(第17条該当事業等抜粋)									
基本目標						直近の状況 (平成27年度実績値)	平成28年度の状況			進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課		
施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標	目標・実績値		予算・決算額(千円)	評価	課題や今後の改善点等						
②子どもの居場所や体験活動の充実	25	放課後児童健全育成事業	保護者が就労などで昼間家庭にいない世帯の小学生を預かり、放課後児童健全育成事業施設内において、集団生活を体験させながら、健全育成を図ります。	入所児童数(人)	2,860	(目標)	3,019	(予算)	629,320		B	【総評】 ・子どもにやさしいまちづくり条例を研修の項目に入れたらどうか。貧困家庭に対する学習支援、文化的豊かさを享受するための機会の保障、遊びの権利の保障を考慮したプログラムを検討する必要がある。深刻な課題といえる。帰宅後一人で過ごす子どもが多い校区では、子ども食堂の実施を助成するなどの対応が求められる。ただ、子どもだけではなく、擬似的な出会いの場として高齢者や地域の様々な方が集えるようなことも必要である。子どもとの格差は放課後の過ごし方に顕著に表れると考えられる。評価は単なる事業実施だけではなく、子どもの笑顔や人との関係性、登校率などに相関していけたらと思う。また、児童館と連携した取り組みや地域の子育て支援拠点として、子育て親子を対象とした交流、子育てについての相談、情報提供、その他の援助を行う子育て広場の実施、地域における子育て支援の充実につながる利活用の促進が課題である。児童館の事業等を広く普及し、広報することは、放課後事業にも繋がる。C-評価で終わることなく、連携が求められるのではないかと。 ・これから夫婦ともに就労している家族は増えていく中で、地域で子どもを育てる仕組みは大事だと思う。小学生になると子どもの親の姿が見えにくくなり、何かあっても気軽に話ができる環境でないのが気がかりである。親が先生や支援者とだけでも繋がり合える仕組みをどのように構築するかが課題だと思う。 ・保育所において、延長保育等に頼っていた保護者が、子どもたちの放課後の預け先に苦労する話は非常に多く聞きます。	地域教育課		
	26	放課後子ども教室推進事業	放課後等に小学校等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得てスポーツ等交流活動を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを行います。	放課後子ども教室の年間実施日数(日)		(目標)	33	(予算)	21,057					C	
					(実績)	31	(決算)	20,745							
	27	教育センター学習事業	教育センターのキッズ学びのフロアの設備を活用した体験教室等を開催することで、子どもたちの豊かな学びを保障し、創造性や探究心を育てます。	年間来館者数(人)	16,070	(目標)	14,310	(予算)	20,087		B	「わくわくセンター学習」は、学校園では学習指導要領の改訂に合わせ、児童生徒が主体的に活動できるプログラムや伝統や文化に関する教材開発を進めていく。「キッズホリデークラブ」は、プログラミング教育を対象年齢や内容ごとにシリーズ化し、より市民のニーズに応じた質の高い内容として推し進める。	教育支援課		
						(実績)	15,739	(決算)	19,624						
	28	黒髪山キャンプフィールド管理運営(新名称:青少年野外体験施設の運営管理)	自然環境の中での野外活動やレクリエーション活動を通じて、青少年の心身の健全な育成を図ります。	市営青少年野外体験施設の利用者数(人)	12,577	(目標)	12,040	(予算)	27,413		B	黒髪山キャンプフィールドの利用者は増加したものの、青少年野外活動センターの利用者は減少しており、利用者も固定化している傾向にある。今後はさらなる広報活動に努めるとともに、魅力的なプログラムを実施し、新規の利用者の獲得に向け、事業を展開していく。また、学校以外での子どもの居場所が求められていることや自然体験の機会の減少が懸念される中、青少年の健全育成の教育・体験活動の場としての利用促進に努めていく。	生涯学習課		
						(実績)	12,279	(決算)	27,412						
	29	児童館事業の充実	児童の健全育成とともに市民との協働による子育て支援の拠点としての事業を行い、より開かれた児童館をめざします。	児童館(4館)の利用者数(人)	36,425	(目標)	39,700	(予算)	50,738		C	今後も引き続き、地域の子育て支援拠点として、子育て親子を対象とした交流、子育てについての相談、情報提供、その他の援助を行う子育て広場を実施し、地域における子育て支援の充実を目指す。さらに、児童館の事業等を広く広報することにより、館の利活用の促進を図る。	子ども育成課		
						(実績)	34,395	(決算)	46,309						
	30	スポーツ体験フェスティバルの開催	「体育の日」にちなんで、スポーツの裾野を拡大し、「見て、触れて、体験」することにより、子どもたちがスポーツに親しみ、取り組む足がかりとなる場を提供します。	参加人数(人)	3,300	(目標)	2,200	(予算)	1,700		A	初めて見るスポーツ、初めて触る道具、初めて知るルールを「見て・触れて・体験して」スポーツに興味を持ってもらい、各競技のすそ野を広げ、スポーツ人口の増進に寄与する。また奈良市健康スポーツポイント事業の指定事業として、参加された市民の方に奈良市ポイントの付与を行った。	スポーツ振興課		
						(実績)	3,000	(決算)	1,685						

基本方針1 子どもがいきいきと心豊かに育つまちづくり						【資料4ー2】 奈良市子どもにやさしいまちづくりプラン審議シート(第17条該当事業等抜粋)									
基本目標						直近の状況 (平成27年度実績値)	平成28年度の状況				進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
	施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標		目標・実績値		予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等			
		31	スポーツ少年団の育成	スポーツ少年団事業として魅力ある本部事業を展開し、団への加入を促進することにより、子どもたちのスポーツの継続的な活動を促進します。	スポーツ少年団加入率(%)	9.1	(目標)	9.3	(予算)	1,000	B	少子化等により、登録団数・団員数が減少しているため、子どもたちがスポーツを通じてこころと身体を育て、積極的に参加できる魅力ある事業の展開を行い登録数の増加に努め、青少年の心身の健全な発達と体力の向上を図る。 (No.26:放課後子ども教室推進事業) ・放課後の子どもの居場所づくりという点でとても意味のある事業ですが、保険の問題の解決を図って頂きたいと思っております。現状のPTA安全会の保険を適用しているという不整合を解決するには、各放課後子ども教室毎に別途保険への加入が必要となりますが、年会費のようなものを徴収しなければならなくりますし、そうならば「誰もが」という居場所とはならない問題もあります。不測の事故によりこの事業の存続が問われることもあるかとも思いますので、放課後子ども教室に参加する子どもたちへの保険を予算化して頂きたいと思います。 ・C評価とされた課題がみえにくい。具体的にどこを改善すれば、目標が達成されるのか。バンビーホームと連携しながら質量ともに向上が必要と 言うことか。 (No.25:放課後児童健全育成事業) (No.26:放課後子ども教室推進事業) ・個別の評価だけではなく、放課後の子どもたちの居場所作りの視点から総合的に捉え、検討することも必要では。 (No.28:黒髪山キャンプフィールド管理運営) ・近場で野外活動が可能な施設であり、潜在的な需要は大きいと思いま す。利用申込みが、利用日14日前までの月・火・木・金・土曜日の午後1時 ～5時に限られ、電話等での受付もしていないので、申込みがやりにくい との声があります。電話やFAX、ネットでの申込みも可能にするなどの工夫 があっても良いのではないかと 思います。 ・利用者から幅広く意見を聴取し、魅力的なプログラムを作ってほしい。 (No.29:児童館事業の充実) ・就園前の子どもと保護者を対象としている地域子育て支援拠点事業の充 実も大切です。一方で、児童館は児童、中高生の居場所としての機能を 充実する取組にも力を入れていただきたいです。 (No.29:児童館事業の充実) ・就園前の子どもと保護者を対象としている地域子育て支援拠点事業の充 実も大切です。一方で、児童館は児童、中高生の居場所としての機能を 充実する取組にも力を入れていただきたいです。	スポーツ振興課		
		(実績)	8.5	(決算)	1,000										
		32	子どもを対象とした文化事業の実施	子どもたちが優れた芸術や伝統的な芸能等、文化に親しむ機会を設けます。	事業の実施件数及び参加人数(件)(人)	45件 48,805人	(目標)	55件 50,000人	(予算)	13,165	B			今後も子どもを対象とした事業を継続して実施する。楽しいだけでなく子どもたちの糧となるもの、参加しやすい時期、参加料などその事業内容にも工夫を加え実施する必要がある。	
							(実績)	39件 24,161人	(決算)	11,290					
	33	アウトリーチ活動の実施	学校教育との連携を図り、子どもたちが芸術文化に親しむ機会を充実させます。	事業の実施件数及び参加人数(件)(人)	7件 4,040人	(目標)	20件 4,800人	(予算)	4,270	B	今後も、訪問先のニーズに対応できるよう柔軟に、内容に工夫をこらし、継続してまいります。				
						(実績)	6件 5,708人	(決算)	3,661						

基本方針2 子どもを安心して生み育てられるまちづくり														
基本目標						直近の状況 (平成27年度 実績値)	平成28年度の状況			進捗状況に対する担当課評価		子ども・子育て会議 委員からの意見	担当課	
							目標・実績値	予算・決算額(千円)		評価	課題や今後の改善点等			
施策の方向性	No	事業名	事業概要	指標										
(2)地域の子育て支援の充実														
①子育て中の親子の居場所づくりの推進	58	地域子育て支援拠点事業	乳幼児と保護者が気軽に集い、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。	子育て中の親子の集える場の利用者数(年度末時点)(人)	148,337	(目標)	150,910	(予算)	102,896	B	父親を対象としたイベント・講座等の開催回数を増やすとともに、父親が参加しやすい雰囲気づくりも意識して取り組んでいく。 また、民生児童委員等の地域の子育て支援者と協力・連携を図り地域の活性化につなげていく。	【総評】 ・子育ては協力者を募ることや育てる困難さへの理解は必要である。一定の理解は進んできた。しかし、問題は、子どもが育つには、その時々 of 生活における大人の働きかけや愛情豊かな応答性である。親でなくとも誰かがその子とを子どもにする大人が必要である。子育て支援が、その時々 of 行事におられないよう、大人が果たすべき子どもへの具体的な働きかけの意味を丁寧に伝えていく時期であると考ええる。 ・地域子育て支援の充実をはかるため、事業を超えたネットワークの構築が必要だと考えます。また、親子支援のみならず、地域と親子をつないでいくというスキルをもつ職員の質向上の研修は恒久的に位置づける必要があると思います。 ・私立幼稚園でも子育て支援として園庭開放や保護者の情報交換の場としての役割を果たしている部分もあるので、そういう情報を今以上に公開できる工夫ができないかと思う。 ・時代ニーズとマッチし、地域コミュニティと一体となった推進をお願いします。 ・全般、父親の参加が鍵となるように思う。子育てに積極的に関わる男性も増えつつある中、イクメンの先輩など、男性スタッフを増やし、父親同士で育児相談ができるような仕組みづくりが望まれる。また、各事業の連携を進めると共に、利用者がそれぞれのニーズに合った事業に参加できるように、それぞれの事業の独自性を明示した事業全体を把握できる広報活動も期待したい。 【各事業】 地域子育て支援拠点事業) (子育てスポットすくすく広場事業) ・多くのイベント、講座は、対象を母親から父親に設定しただけのものとなっていることが多い。父親を対象とするならば、父親の求めるものをしっかりと把握する必要がある。 (地域子育て支援拠点事業) ・保健師が定期的に拠点を訪問する、乳児家庭全戸訪問事業で情報提供を必ずするなど保健センターとの連携をとることで、より充実した子育て支援が可能になると考えます。 ・父親が参加しやすい雰囲気づくりへの取り組み内容・状況の広報の強化が必要。参加者の増加により、民生児童委員等への財政支援が必要。 (子育てスポット事業) ・子育てでスポット会場数の増加が課題。子育てで家庭の人たちは身近なところでの開催を希望されている。 (市立こども園の地域活動の推進) ・地域との交流を図るには、地域行事への園の参加や園行事への地域の方の協力といった関係が考えられます。保護者においては幼稚園PTA等は地域行事に関わるところが多数ですが、保育園の保護者会などは、居住地が園の小学校区とは異なる保護者も多く地域との関わりが薄いように思います。幼保一体型のこども園などPTAと保護者会が合体した際にも、従来のような地域との関わりを維持することが難しい面があります。園と地域との関係は保護者のかかわり抜きには考えられないところもありますので、どう地域が保護者を巻き込んでいくのかを考えていく必要があるかと思っています。 ・評議員制度を認定こども園にも導入することが大切ではないか。 ・地域のものが園の状況がわからないとの声があるので地域にも情報発信が必要。 (地域に開かれた幼稚園・保育所づくりの推進) ・地域のものが園の状況がわからないとの声があるので地域にも情報発信が必要。そして、指標や実績等がないが、「未就園児親子登園を充実させる」事業を行なっている園もあるので実施箇所を指標とするのも一つではないかと思う。 ・とても大切な事業だと思うので、目標も設定して欲しい。数字では難しいのであれば、この事業を継続するにあたって利用者にヒアリングする努力をしたかどうかなどでも良いとは思いますが。	子ども育成課	
			(実績)	159,359	(決算)	102,877								
	59	子育てスポット事業	公共施設の空きスペースで、月1〜2回、乳幼児と保護者が気軽に集って、交流できる場を地域に提供し、育児相談や子育て関連情報の提供、講習会などを行います。	子育て中の親子の集える場の利用者数(年度末時点)(人)	148,337	(目標)	150,910	(予算)	5,250	B	地域子育て支援拠点等の子育て支援団体及び地域の子育て支援者との交流・連携の強化を図る。また、こども園の子育て支援事業との協働・連携など、時代や地域のニーズに沿った運営をしていく。		子ども育成課	
			(実績)	159,153	(決算)	5,078								
	60	子育てスポットすくすく広場事業	福祉センターで、主として乳幼児(0〜3歳)と保護者が気軽に集える場を提供し、高齢者から昔ながらの遊びや昔話を教えてもらうなど、異世代間における交流を行います。	子育て中の親子の集える場の利用者数(年度末時点)(人)	148,337	(目標)	150,910	(予算)	40,764	B	子育てスポットすくすく広場は土曜日も開催しているが、父親の参加が課題であるため、父親を対象としたイベント・講座等の開催回数を増やすとともに、父親が参加しやすい雰囲気づくりも意識して取り組んでいく。		子ども育成課	
			(実績)	159,153	(決算)	40,350								
	61	市立こども園の地域活動の推進	地域に開かれたこども園として、地域の様々な人との交流を推進するとともに、未就園児の親子登園や子育て相談を実施する等、地域の子育て支援の拠点として子育て支援の充実を図ります。	市立こども園全園に評議員4名を配置する割合(配置した評議員数÷施設数×4名)(%)	24	(目標)	36	(予算)	—	B	学校評議員制度の充実を図り、園だけでなく様々な立場の方に園教育・保育についての評価をしてもらい、その意見を活かしていく。園児が様々な人と関わる中で豊かな経験を積み重ねていきたい。子育て支援においてはホームページなどを利用し、情報発信をし、保護者の子育て相談にも積極的に応えるように努める。			こども園推進課
			(実績)	30	(決算)	—								
	62	地域に開かれた幼稚園・保育所づくりの推進	地域の仲間とふれあう機会が少なくなっている幼児や、子育てに孤立感・不安感を抱えている保護者のために、園庭・園舎を開放し、在園児との交流や未就園児の親子登園を実施します。	—	—	(目標)	—	(予算)	—	B	未就園児親子登園を充実させることで、在園児だけでなく、その保護者に対しても子育ての情報を積極的に伝え、子育て相談を行うことにより地域全体で子育てに取り組める体制づくりを行う。また、安心安全に遊べる場として今後も園庭を開放し、保護者同士、子ども同士の交流の場を提供していく。			こども園推進課
			(実績)	—	(決算)	—								
	63	公民館での各種教室・講座	公民館の特性を生かし、各年度において、各種子育て支援事業を実施します。 ①親子が集える「場」の提供・情報提供事業 ②子育て支援教室・講座(保護者対象) ③体験教室・講座(親子対象) ④体験教室・講座(児童対象) ⑤地域の子育て力向上をめざした教室・講座(市民対象)	子育て支援に関する事業数(事業)	160	(目標)	165	(予算)	1,644	B	平成28年度も引き続き、子育て中の親の課題やニーズに応えられるよう、また子どもたちの豊かな育ちを支援できるよう、多彩な事業を実施した。 最近では親も子も忙しく、日常生活の中でゆっくりと共同体験をする機会が少ないことから、特に親子対象の体験講座の充実を図り、親子の絆を深めることをめざした。 子ども・子育て会議における意見等を参考に、地域や各種団体の協力を得ながら、今後も継続して取り組んでいく。			生涯学習課 (奈良市生涯学習財団)
			(実績)	161	(決算)	1,685								

基本方針3 地域全体で子どもと子育て家庭を見守るまちづくり

[illegible]